

令和4年取扱貨物量概況

石狩湾新港の令和4年取扱貨物量は全体として5,449,392トンとなりました。

主な動向として、輸出では、主要貨物の金属くずが東南アジア諸国に向け堅調に推移し、248,258トン(対前年比116.6%)となったほか、再利用資材が42,964トン(対前年比151.6%)と伸びています。

輸入では、LNG(液化天然ガス)が2,605,126トン(対前年比102.8%)で増加したものの、木材チップをはじめ、多くの品目で前年を下回りました。

今後、運転開始予定のバイオマス発電施設の燃料である木質ペレットやPKS(パーム椰子殻)が増えていくことが期待されています。



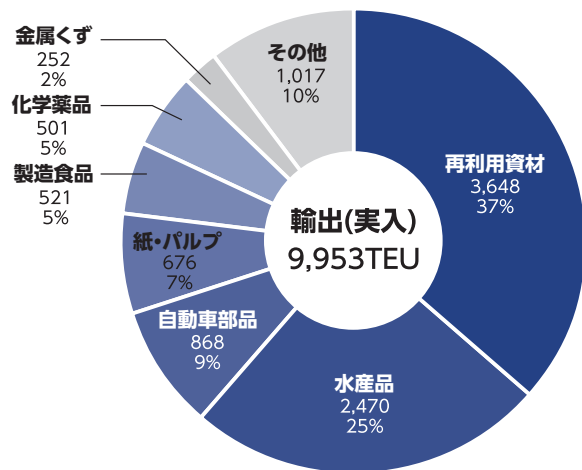
【外貿コンテナ取扱個数】

石狩湾新港の令和4年の外貿コンテナ取扱個数は輸出が21,211TEU、輸入が21,952TEU、合計で43,163TEUとなりました。

主な動向として、輸出では、ベトナムや韓国向けの古紙などの再利用資材が3,648TEU(対前年比145.4%)のほか、自動車部品や紙・パルプなどが増加しました。

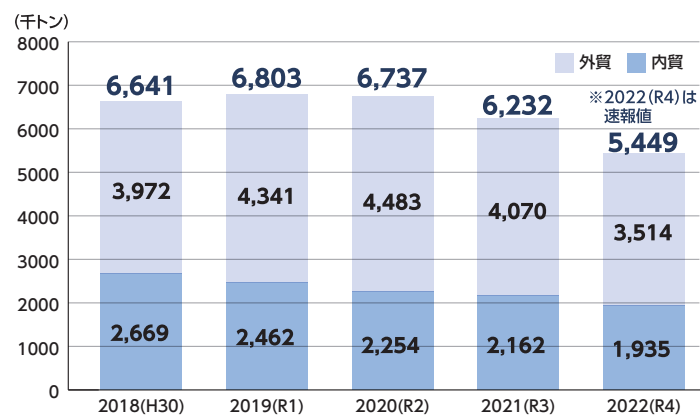
輸入は、資材価格の上昇や物価高による購買意欲の低下などから、主要貨物の木製品をはじめ、その他日用品など多くの品目が前年を下回りました。

令和4年外貿コンテナ貨物 品目構成 速報値(単位:TEU)

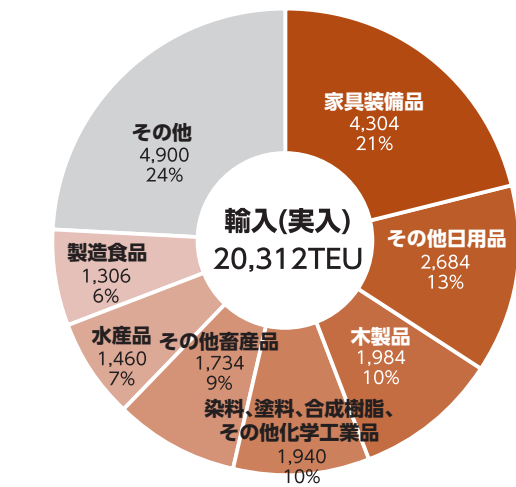
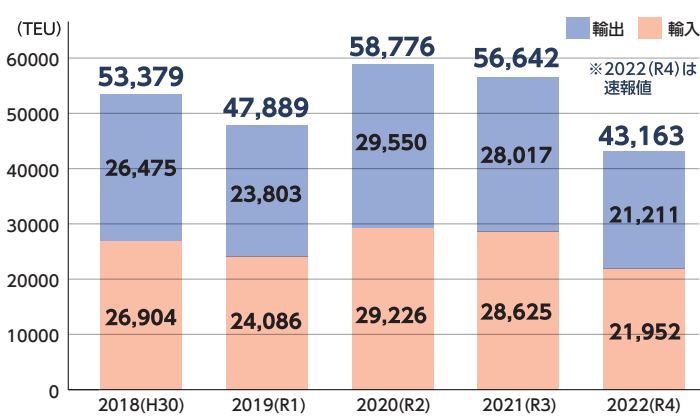


輸出	37万4,093トン (対前年比 113.2%)
輸入	313万9,859トン (対前年比 84.0%)
移出	26万3,401トン (対前年比 114.3%)
移入	167万2,039トン (対前年比 86.6%)
合計	544万9,392トン (対前年比 87.4%)

取扱貨物量5年間の推移



外貿コンテナ取扱個数5年間の推移



MARINE PRESS

ISHIKARI BAY NEW PORT NORTHERN PORT DAZZLING THE WORLD FROM ISHIKARI

石狩湾新港管理組合
石狩湾新港外貿貨物利用促進協議会
北海道石狩市新港南2丁目725-1
Tel 0133-64-6661 Fax 0133-64-6666
http://www.ishikari-bay-newport.jp

令和4年「外国貿易額」過去最高を更新

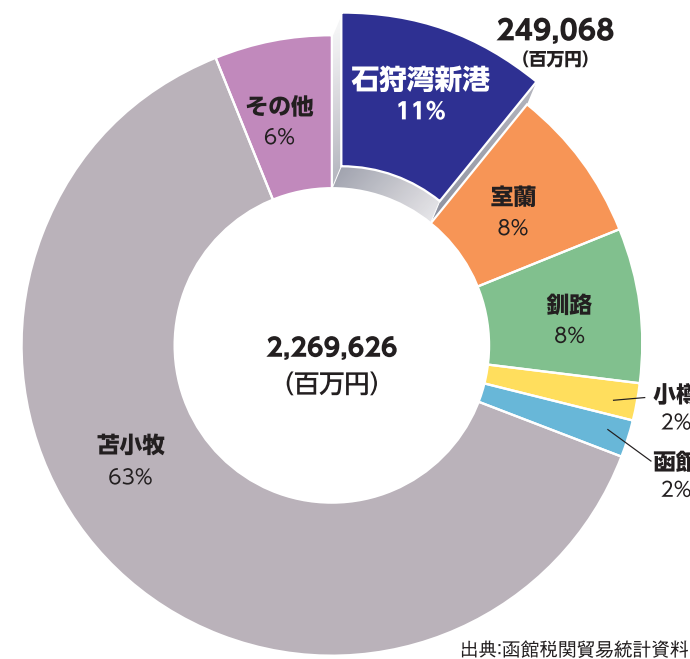
令和4年外国貿易概況

石狩湾新港の令和4年外国貿易額は、小樽税関支署石狩出張所によると、輸出額が409億5,310万円、輸入額が2,081億1,468万円、総額2,490億6,778万円となり、前年と比較して約40%伸び、輸出入ともに2年連続で過去最高額を更新しました。

本港の輸出入別の特徴として、輸出は、「魚介類及び同調製品」や「金属鉱及びびくず」などが堅調に推移し、前年比139.5%で開港後初の400億円台を記録しました。

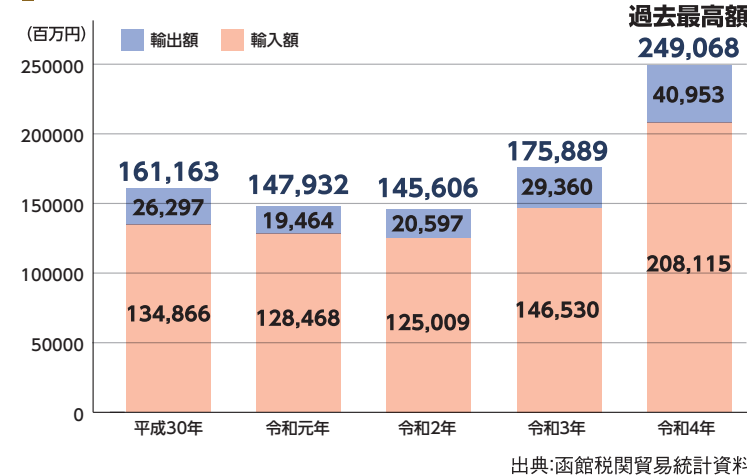
輸入では、「天然ガス及び製造ガス」や「肉類及び同調製品」などが増加し、前年比141.9%で前年の実績を超えて開港後初の2,000億円台を記録しました。

令和4年外国貿易額 (北海道全体)



輸出額	409億5,310万円 (対前年比139.5%)
輸入額	2,081億1,468万円 (対前年比141.9%)
合計	2,490億6,778万円 (対前年比141.5%)

石狩湾新港外国貿易額推移



また、北海道全体では、輸出は「魚介類及び同調製品」や「自動車の部分品」などが増加し、4,295億800万円、輸入は「原油及び粗油」や「天然ガス及び製造ガス」が増加し、1兆8,401億1,800万円、総額2兆2,696億2,600万円で、輸出入額ともに2年連続のプラスとなり、前年と比較して約50%伸びています。

このうち、本港が占める割合は、約11%であり、苫小牧港に次いで2番目に大きい割合となっています。

まるっと!石狩湾新港

本港の冬の荷役作業や最近のトピックスなどを盛り込んだプロモーション映像が完成しました。YouTubeにアップした「石狩湾新港の今」を是非ご覧ください!
「高評価(いいね)」「チャンネル登録」もお願いします。

○チャンネル名:
石狩湾新港Ishikari Bay New Port

映像はこちら ⇒

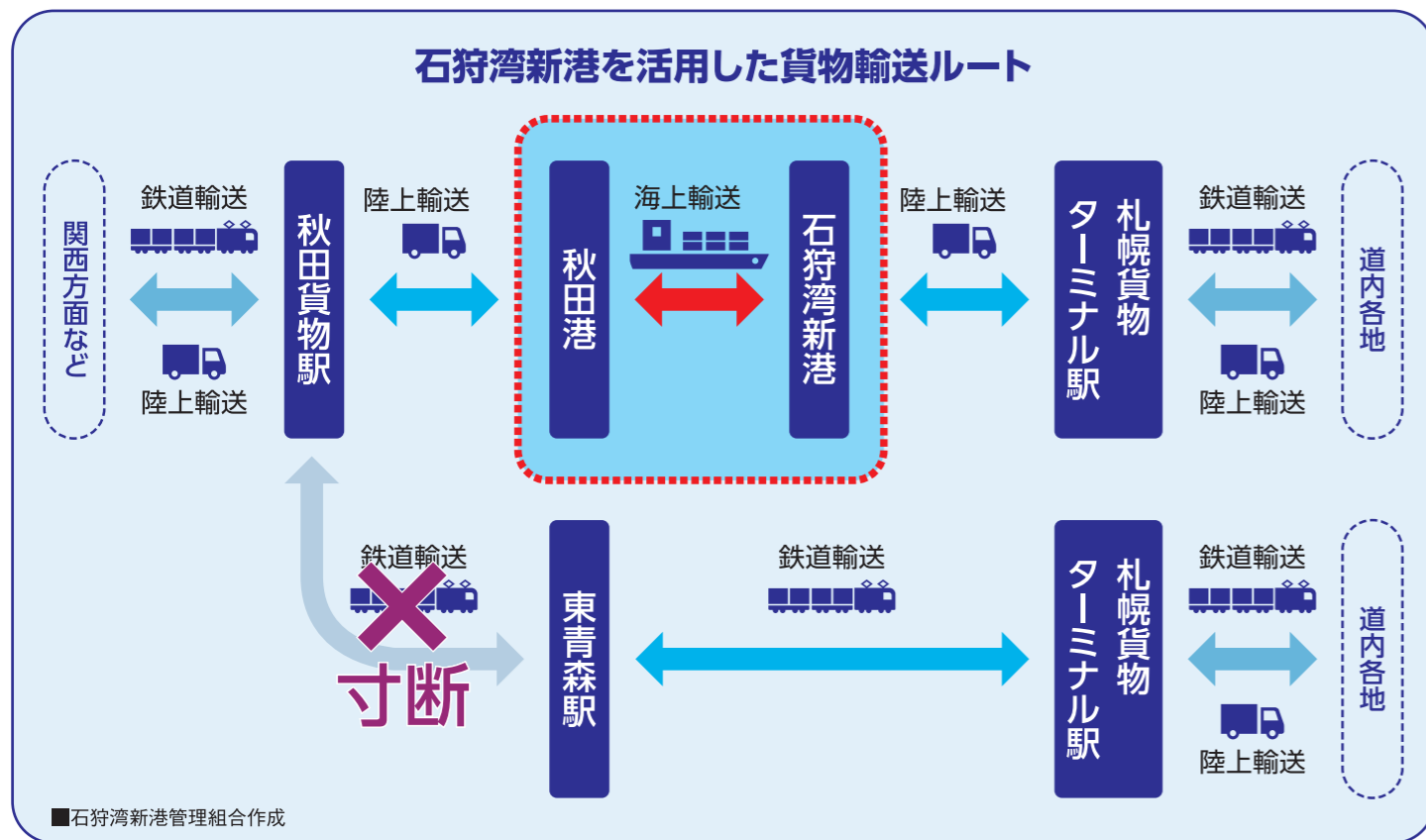


北海道の物流を守る!

災害時の物流ルートを確認し北海道経済に貢献

昨年8月の大雨の影響により、東北地方において鉄道の一部区間で線路への土砂流入等が起こり、秋田貨物駅～東青森駅の間において、貨物列車が運転を見合わせたことで、秋田県～青森県の鉄道の「日本海ルート」が寸断されました。

同区間は、主に北海道～関西方面における物流の要所であり、貨物輸送を維持するためには他の輸送モードによる代行輸送が必要であることから、札幌貨物ターミナル駅と秋田貨物駅間をつなぐために石狩湾新港～秋田港間で船舶による代行輸送が行われました。



8月23日から9月15日までの約3週間、両港間を4隻の船舶による海上輸送を行い、主に野菜や食料工業品など合計2,465基のコンテナを輸送しました。

日本貨物鉄道株式会社の担当者からは、「自然災害で鉄路が寸断され、北海道と本州をつなぐ物流ルートが制限された状況において、石狩湾新港を利用することで代替ルートを

確保し、北海道経済に貢献することが出来た」と同っており、災害時における代替輸送ルートの確保において、本港の札幌圏に直結し、広大な荷捌き地を有するという特徴が活かされ、貨物輸送に重要な役割を果たすことが出来ました。

今後も、札幌圏の物流拠点として、北海道経済の発展に寄与してまいります。



■石狩湾新港を利用して運ばれるJRコンテナ



輸出貨物の増加に向けて

北海道産食品を世界へ

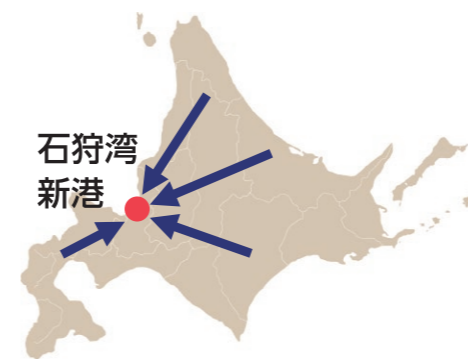
石狩湾新港管理組合では、石狩湾新港を利用した北海道産農水産物等の輸出拡大を図るため、新たな輸出貨物を発掘するとともに、近年増設した冷凍冷蔵コンテナ用コンセントや定温機能を備えた小口貨物積替施設を活用した輸出モデルを構築するための調査事業を行っています。

令和3年度は、北海道産のお米のほか、近隣JAのジャガイモ、タマネギなどを香港に輸出し、混載輸送の効果や課題等を調査しました。

本年度は、他の青果に影響を与える可能性のあるエチレン

ガスの生成量が多いメロンを中心に、トマトやきゅうりなどの道産野菜を、鮮度保持するための装置を設置したコンテナで香港に混載輸出し、現地における品質状況等について調査を行っています。

今後は、調査で得た効果や課題を検証していくとともに、利用者のニーズを踏まえ、小口混載から将来的にコンテナ1本を仕立てられるような道産食品の輸出拡大を目指し、北海道の食品を北海道から輸出する「オール北海道」の取り組みを推進し、北海道経済の発展に貢献してまいります。



道産品を集約、バンニングし、混載で輸出



■令和3年12月 北海道新聞

大人気ドラマの舞台に

石狩湾新港を舞台にドラマの撮影が行われました!

昨年10月から12月に、北海道文化放送(UHB)で放送された人気ドラマ「日本統一 北海道編」はもうご覧になりましたか?

「日本統一」は、2013年から制作され、50作以上を展開している人気コンテンツで、この度、シリーズのスピノフという形で北海道編が制作され、札幌や根室などのほか、石狩湾新港でも撮影が行われました。

物語のクライマックスの舞台として撮影された本港のシーンでは、緊迫した場面や迫力ある銃撃シーンとなっており、思わず見入ってしまいます。



©「日本統一 北海道編」製作委員会

北海道外にお住まいの方や見逃した方は、同作品をU-NEXTで視聴可能となっておりますので、北海道を舞台にした迫力満点のドラマを是非ご覧ください!